

## 平成29年度における大学図書館の活動概要

### 1. 利用者サービス向上の取組

#### (1) 業務の一部委託化

主にカウンター業務全般とILL（図書館間相互貸借）業務、図書資料の受入れに係る目録及び装備業務等の委託化により、カウンター業務サービスの質の向上と均一性の維持を図ることができた。

#### (2) 開館時間の延長

上記(1)の実施に伴い、平成29年度から授業期間中の開館時間を、中央図書館では平日1時間、土曜日3時間延長した。日進図書館では、平日20分間延長したが、土曜日は3時間10分短縮となった。これにより、中央図書館の年間の延べ入館者数が112,054人、図書資料の年間貸出冊数は54,351冊とこれまでの最高入館者数と最高貸出冊数を記録した。一方、日進図書館では延べ入館者数が28,331人（前年度は29,814人）、図書資料の年間貸出冊数は11,359冊（前年度は11,523冊）と、前年を下回ることであった。

#### (3) 返却ブックポストの設置

中央図書館及び日進図書館の正面玄関付近に返却ブックポストを設置した。これにより利用者は、図書館の開館日程・時間に捉われず、いつでも図書の返却ができるようになった。

#### (4) レファレンス・サービスの拡充

中央図書館におけるレファレンス資料の3階から1階への移設は検討に留まり、今後の継続的な検討課題となった。なお、相談件数は、5～7学部規模の私立大学では平均1,317件/年（2017年度 学術情報基盤実態調査より）であったが、本学の実績は、中央・日進両館合わせて4,101件となり、同規模の私立大学平均や前年度との比較においても飛躍的に増加した。

#### (5) Webコンテンツの拡充

司書課程教員の協力により学生が作成したパスファインダーを図書館ホームページ上に公開することを検討する前段階として、それに代わる紙媒体資料を館内に設置し、利用者が自由に持って行けるようにした。

#### (6) ILLサービスの充実

平成29年度は、数年前から取扱い業務を停止していた英国図書館文献供給センター（BLDSC）文献複写サービスを再開し、さらに図書借用サービスを開始した。世界最大規模の文献提供サービス導入によって、国内に所蔵がない資料を入手できる可能性が高くなった。

#### (7) ノート型PCの増設

平成26年度末の中央図書館へのラーニングコモンズ設置以降、サービスを開始したノート型PC（中央図書館に30台）の貸出だが、平成29年度は、中央図書館に20台、日進図書館に20台を増設し、現状の利用者のニーズに十分対応できる台数を確保できた。

#### (8) その他の館内環境の整備

これまで中央図書館及び日進図書館両館に設置されていなかった各フロアの案内を、両館の利用者から目につきやすい場所に設置した。中央図書館では、中央階段や地下2階の照明のLED化や、中央階段のフロアカーペットの敷設を実施した。また、大型本用書架及び新書用ランドケースを増設し、書架スペースの向上を図った。

### 2. 館内の狭隘化対策

館内の狭隘化対策に向けて、その拠り所となるオフィシャルなルール作りが急務と捉え、数々の検討を重ねて「椋山女学園大学図書館資料収集規準」を制定した。しかしながら、狭隘化が進む図書館で、物理的な書架スペースを創出するために、書庫を蔵書のための書架として運用する検討をしたが、書庫内の和装本の整備や退職に伴う研究室からの返還図書の廃棄等課題が山積しているため、現実的なアクションプランを立てて進めるまでには至らなかった。

### 3. 学生サポーター制度の拡充

これまで別々に活動していた中央図書館と日進図書館のライブラリーサポーターの活動の一体化や意識付けは十分できたとはいえないが、その活動の一つであるスタンプラリーは、中央図書館では昨年度の約9.3倍の852人、日進図書館では同約3.6倍の281人の参加数に急増した。

#### 4. 学術機関リポジトリの推進

これまでのリポジトリシステムから国立情報学研究所（NII）のJairo Cloudへの乗り換え完了後の本格的な運用の1年となったが、順調にコンテンツ数が増加し、年度末時点での公開している論文等の件数は、学術論文725件、紀要論文337件、学位論文5件、研究報告書17件、実践報告書5件、教育資料31件、学協会誌7件の合計1,127件で、年間のダウンロード数は77,432件であった。

#### 5. 地域社会との連携を推進

##### (1) 一般女性及び女子高校生等への図書館開放

一般女性への図書館開放について、平成28年度の有効登録者数は67名（全登録者数は209名）に対し、平成29年度は90名（全登録者数は229名）となり増加傾向にある。また、延べ利用者数は平成30年3月末現在で、延べ811名（前年度737名）と同様に増加している。

##### (2) 名古屋市図書館及び日進市図書館との連携

本学は、名古屋市図書館及び日進市立図書館との連携協定に基づく相互利用を行っており、資料貸借は、名古屋市図書館又は日進市図書館への依頼件数が30件（前年度は15件）、名古屋市図書館又は日進市図書館からの受付は、20件（前年度実績なし）と大幅な増加が見られた。なお、平成29年度は、名古屋市図書館から専門図書館や大学図書館の所蔵資料も検索できる「まるはち横断検索」の運用がスタートし、本学図書館もその取組に参加している。

#### 6. 図書資料の収集・整備状況

本学図書館において、平成29年度の入入れを行った結果、所蔵総冊数は、図書455,964冊、雑誌2,518種となった。その詳細は、平成30年3月31日現在、下記蔵書数のとおりである。

##### (1) 図書（所蔵総冊数）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	290,212冊	80,816冊	371,028冊
日進図書館	67,754冊	17,182冊	84,936冊
計	357,966冊	97,998冊	455,964冊

##### (2) 学術雑誌（総種数）

区分	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	1,499種	679種	2,178種
日進図書館	186種	154種	340種
計	1,685種	833種	2,518種

##### (3) 年間図書資料受入数（製本雑誌、寄贈図書、移管受入図書を含み、廃棄資料は含まない。）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	4,446冊	1,100冊	5,546冊
日進図書館	998冊	68冊	1,066冊
計	5,444冊	1,168冊	6,612冊

##### (4) 視聴覚資料（カッコ内は廃棄点数）

区分	平成29年度受入数	計
中央図書館	204(3)点	19,760点
日進図書館	21(110)点	3,251点
計	225(113)点	23,011点

7. 利用者サービス状況

区分			中央図書館		日進図書館	
			平成 29 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
開館日数			279	281	279	284
入館者数			112,054	109,263	28,331	29,814
貸出冊数			54,351	48,872	11,359	11,523
26	文献複写	依頼件数	770	632	102	149
		受付件数	1,156	1,104	190	268
	閲覧	依頼件数	6	2	1	2
		受付件数	22	36	5	11p
	相互貸借	借用	61	45	12	17
		貸出	33	26	2	3